

特産の六条大麦景観イベント 「六条大麦フェス」開催！

JA 兵庫南(加古川市・中村良祐代表理事組合長)で、六条大麦(品種:シュンライ)の圃場で景観イベント「六条大麦フェス」を開催します。同 JA 管内の東播磨地域で1981年ごろから六条大麦の栽培が始まりました。2023年度は栽培面積415ha、収穫量1,452tとなり、西日本有数の産地です。主に麦茶の原料となりますが、さらなる活用を目指し、同JA・兵庫県立農業高等学校(加古川市)・東播磨県民局が連携し、「大麦プロジェクト」を展開しています。同フェスでは、地域営農組合の協力で、同JA直売所「にじいろふぁ～みん」南側の圃場でスタンプラリーを実施。そのほかにも、六条大麦を使った商品の販売などを学生らが行います。

さらなる生産拡大や産地振興に向けた取り組みをぜひ取材いただき、報道の資料としてご活用ください。

品種:六条大麦「シュンライ」

栽培地域:東播磨地区(稲美町・加古川市)

栽培規模:415ha(令和5年度実績)

収穫時期:5/20～

収穫予定量:1,452t(令和5年度実績)

特徴①西日本有数の六条大麦産地

②産・官・学の連携による産地振興

③大麦商品「米粒麦」の学校給食への導入



【六条大麦フェス 開催概要】

イベント名:「六条大麦フェス」

日時:4月28日(日)午前9時～午後3時

場所:JA 兵庫南 にじいろふぁ～みん(加古郡稲美町)

出席者:JA 兵庫南・東播磨県民局・兵庫県農業高等学校・キング醸造株式会社

内容:大麦畑おさんぽラリー、米粒麦入かまどごはんの試食、ヒンメリワークショップ(有料)

兵庫県立農業高等学校生の大麦粉を使った手作り焼き菓子販売など

どんな取材が可能か:出席者や利用者へのインタビュー、大麦風景の撮影など

JA 兵庫南は明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町を管内に、暮らしを支えるさまざまな事業を展開しています。地域産業の一つである農業の振興を柱に、地産地消や食の大切さを発信しているほか、地域が安心できる暮らしづくりに力を注いでいます。

この件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先
JA兵庫南 総務部ふれあい広報課 担当:西垣 高見
直通電話:(079)424-1388 FAX:(079)424-1134
email:nishigaki671@ja-hyogominami.com